

テレワーク・デイ実施風景

・在宅勤務での遠隔会議の様子

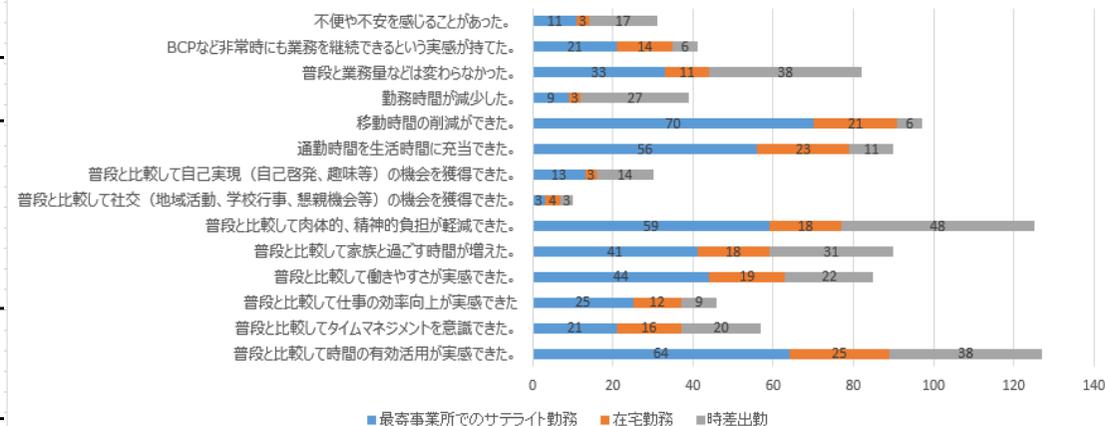


実施結果

- 公共交通機関の利用
最寄り駅への乗り入れ路線において、10:30までに乗車しなかった人
→ 在宅勤務と時差出勤の203名
- 購買行動の変化（普段のオフィス勤務時と異なる購買行動）
 - ・消費が増えた人数 35人 増加総額 70000円
 - ・消費が減った人数 10人 減少総額 7700円
 - ※変わらない 174人
- その他の評価指標

所在地（市区町村）	本社：東京都中央区 その他、首都圏6事業所で実施 (東京都大田区、品川区、神奈川県横浜市都筑区・港北区、海老名市、厚木市)
従業員人数	10000人以上
実施人数	約350人 ※実施エントリー人数 ・在宅勤務 49人 ・近接事業所におけるサテライト勤務 138人 ・時差出勤 154人
実施場所	・自宅 ・自社専用のサテライトオフィス(事業所内サテライト)
実施概要	以下の施策より、各職場・個人でできることを推進。 1. 在宅勤務の取得促進 2. 近接事業所におけるサテライト勤務 首都圏7事業所のサテライトスペースを活用。 3. 時差出勤 フレックス制度を活用し、午後出社の推奨。 ※この他に、有給休暇の取得の促進により 1014人

テレワークデイの感想



- テレワークだけでなく、時差出勤なども含め、各職場・個人でできる方法を選択してもらった結果、当初想定より多くの社員が参加。
- アンケートより、多く見受けられたコメント
 - ・テレワーク、時差出勤では、時間の有効活用や身体的負担軽減等の効果実感。
 - ・このような機会は、より増やしたほうがよい。
 - ・時差出勤では、遅い出社ではなく、朝型へのシフトも有効ではないか。（昼ごろの移動は夏場は暑い、との意見も見受けられた。）